環境経営レポート　2023

第１版
対象期間　2023年４月１日～　2024年３月31日

目　次

1. 組織の概要 ---------- 2
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日 ---------- 2
3. 環境方針(経営方針) ---------- 3
4. 実施体制と各課の役割 ---------- 4
5. 環境目標及び活動実績 ---------- 5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ---------- 7
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ---------- 7
7. 代表者による全体評価と指示事項 ---------- 9

作成日　　２024年　８月　19日

日邦電機株式会社

承　認	管理責任者	作成
社長 '24.08.20 待岡	原	村上

1．組織の概要

(1)　事業所名　　日邦電機株式会社　本社
　　長野工場
　　茅野工場

(2)　所在地　　本社　　〒142-0053　東京都品川区中延 1-11-6
　　長野工場　〒399-3303　長野県下伊那郡松川町元大島 2954－6
　　茅野工場　〒391-0012　長野県茅野市金沢 5125

(3)　代表取締役社長
　　待岡　誠

(4)　環境管理責任者
　　品質保証（在 長野工場）　　原 悠輔

(5)　連絡先
　　本社　　電話　03-3738-7106　FAX　03-3783-7108
　　長野工場　電話　0265-36-3131　FAX　0265-36-3132

(6)　事業の規模
　　資本金　　2,000 万円
　　社員数　　67 名
　　設立　　１９５４年 2月 1日
　　延床面積　本社　　442m^2
　　長野工場　2,４２５m^2
　　茅野工場　　170m^2
　　売上高　　1450 百万円

(7)　弊社ホームページと環境管理責任者のメールアドレス
　　http://www.nippo-d.co.jp/
　　y.hara@nippo-d.co.jp

(8) 環境及び品質マネジメントシステムの認証・登録

エコアクション21
認証番号 0004245

ISO9001
長野工場
茅野工場

2．対象範囲（認証・登録範囲）

精密小型モータ、ギアドモーターの開発、設計、製造及び販売
精密加工部品の製造及び販売

3．経営方針

経営理念を実現するための経営活動の方向性（指針）を示したものです。
日邦電機の経営方針は品質マネジメントシステムの方針と同一です。

・お客様の期待とニーズに応えられる製品を市場に提供する

品質第一をモットーに、お客様に満足していただける魅力ある製品とサービスを提供する

・お客様に満足いただける品質・価格・納期を提供するために、継続的な改善活動を行う

提供する製品やサービスの品質はもとより、会社の質・従業員の質を高める努力をし続ける

・環境に関する法規制の遵守

環境問題への取り組みを重要な経営課題の一つとして認識し、環境保護活動を推進する

＜環境保全への行動指針＞

当社は、産業機器用モータ、ギアヘッド、組立製品及び加工部品の生産活動に関わる環境への影響を認識し、環境経営マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努めます。

1．環境目標・活動計画を定めて活動を推進します。

①二酸化炭素排出量の削減　（低炭素社会への対応）

・電力（工場、事務所）
・灯油（ボイラー用）
・社用車燃料（ガソリン３台、軽油１台）

②廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進　（循環型社会への対応）

・一般廃棄物（紙くず、段ボール）
・産業廃棄物（廃プラ）

③排水量の削減　（水資源の保全）

・水道水の使用量削減

④化学物質の使用量の削減

⑤環境配慮活動の推進

・環境配慮製品の設計及び生産
・グリーン購入・グリーン調達の実施

2．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3．環境への取り組み状況を環境活動レポートにとりまとめ公表し、社内及び社会とのコミュニケーションに努めます。

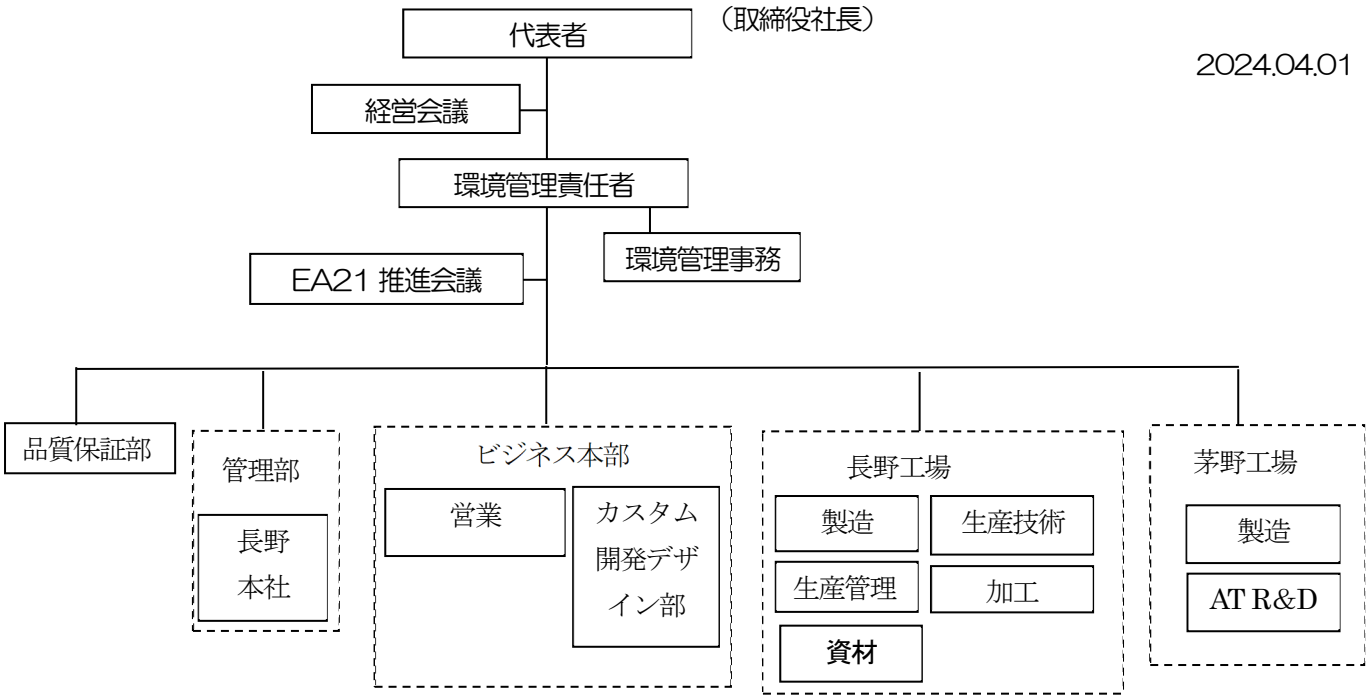
4．社員に必要な教育を行い、環境方針(経営方針)の周知と環境保全を意識した行動に努めます。

2023年４月１日

日邦電機株式会社　代表取締役社長　　待岡 誠

4. 実施体制と各課の役割

当社の環境経営システムを運用するための組織と役割・責任及び権限は以下の通りです。



役割	責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人・設備・費用・時間・技能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、及び管理 ・環境関連法規制登録簿の承認 ・環境活動計画書の承認 ・環境教育訓練計画/実績表の作成 ・環境活動の取組み結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境活動全般の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
EA21 推進会議	・環境目標及び環境活動計画の審議と策定 ・月度進捗管理及び取組上の問題点の審議と処置・対策検討
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針・目標・活動計画の周知 ・自部門における活動実施及び達成状況の報告 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5．環境目標及び活動実績

5.1 目標：【2022 年度実績対比で２022 年度～２024 年度までの３年間で３%を削減】

２023 年度の目標は２022 年度実績に対して１%削減目標としました。但し、原単位（生産額、労働時間や燃費）による指標設定です。総量は増加設定となりました。

また、コロナ感染予防しながら、環境対応を行っていくようにしました。

5.2 環境活動計画及び実績

（１）目標を達成するための取組

① 使用電力削減による二酸化炭素排出量低減

- 冷房温度は２８度、暖房温度は２０度の徹底
- 電気のまめ切り、よしず日よけの設置継続
- 工場内の天井灯の間引き
- 照明器具 LED への切り替え　部分計画実施
- 太陽光発電の運用
- グリーン電気の採用

② 灯油使用量削減による二酸化炭素排出量の低減

- ウォームビズ運動の展開

③ 社用車燃料使用量の削減による二酸化炭素排出量の低減

- 「エコドライブ１０運動」の推進（ふんわりアクセル、アイドリングストップ等）
- まとめ業務運転の実施（社用車の運行効率改善）
- WEB 会議の活用で出張削減

④ 廃棄物の発生抑制と分別

- 電子配布の促進（全社共有の電子フォルダに配布文書等を格納し、オープン化と共有化）
- 両面印刷の促進
- ミスコピーの防止（印刷プレビューで印刷前に改ページ位置を確認）
- 使用済みコピー用紙の裏面利用
- 繰り返し利用可能な通箱化の推進
- 梱包材（ダンボール・緩衝材・ビニール袋等）の再利用の促進

（２）環境方針に基づく環境配慮活動

① 環境配慮設計の実施（環境配慮部材の採用）

② 新製品開発ステップ管理で環境配慮チェック実施

③ 「環境教育」の実施　（廃棄場所の点検、指導教育）5S 点検

（３）節水

①節水の推奨―水道洗い場へ「節水」表示板の設置

②水道水使用量の監視（異常発見時の是正）

（４）その他の取組み

①エアコンプレッサーのメンテナンス清掃の実施でドレン排水のクリーン化とドレン水の低減。排水減量により、吸着マットで油分吸着、吸着マット半期１回交換に。排水量激減したので、ほぼ蒸発で済むため、U 字溝への排水はゼロ。 コンプレッサーの定期的メンテを継続する。

②太陽光発電の稼働状況の確認

5.3 環境目標と実績

（1）活動実績

① 環境パフォーマンスの数値目標は、2021 年度の実績を基準に稼働状況を考慮して２023 年度の活動目標を設定し、活動結果を評価しました。（‘前年度に対し１%削減）

② 今年度も指標評価を実施し、環境活動の結果を総量と原単位の両方で評価できるよう目標設定をして活動しました。

③ CO2 の総排出量削減は、主に電力で、灯油・ガソリン使用量削減に活動を実施しました。又、廃棄物の排出量削減を課題として全社員で環境負荷の削減活動に取り組みました。

④ 化学物質使用量の削減については、新製品開発ステップ管理におけるチェック事項に指定し、製品への有害化学物質の使用量削減に取り組みました。

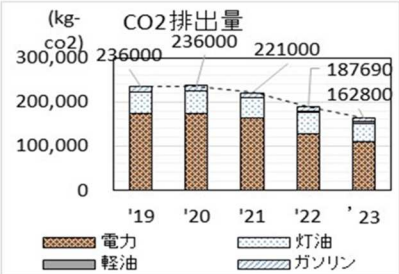
⑤ 生産に使用している有機溶剤や切削油の含有ＰＲＴＲ対象化学物質の使用量の把握のため、購入量の集計を継続しました。

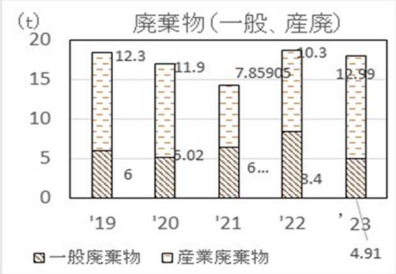
（2）活動実績評価　　全社実績　（本社、長野工場、茅野工場の合計）

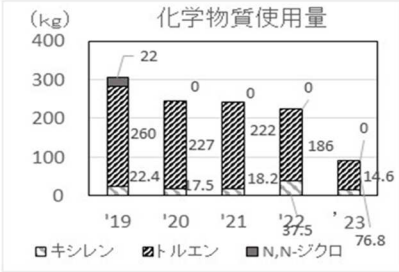
グラフを確認いただくときの留意点

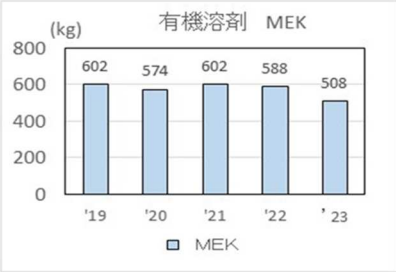
・長野、本社の購入電力は CO2 排出。 茅野工場はグリーン電気

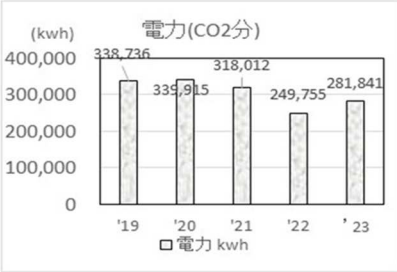
・電力の CO2 排出 中電 R1年(R3 報告書) 実排出係数 0･422 kg-CO2/kwh を採用 サイト共通で使用

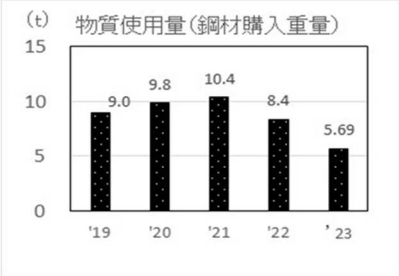


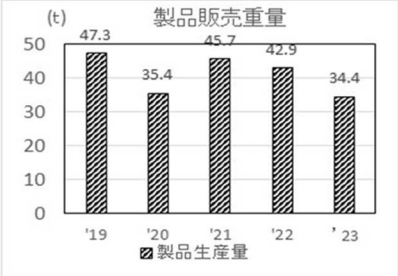


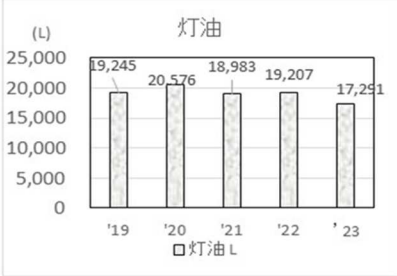


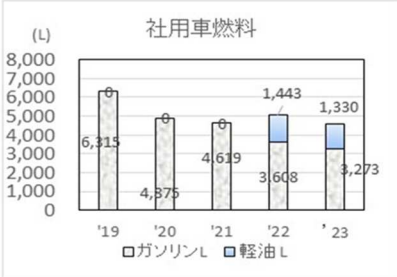












※電力の CO2 排出量の算出には、中部電力 R1年(R3 報告書) 実排出係数 0･422 kg-CO2/kwh を採用 サイト共通で使用

結果まとめ

・CO2 排出量―長野工場は太陽光発電(21/5 導入)23 年度も継続中です。

'22 年４月から、茅野工場の電気が CO2 フリーに切り替え継続中です。

他に社用車燃料は 22 年１台追加。'22 年は若干上昇するも、今年度は、'22 年並みとなった。

WEB 会議の実施多用により社用車使用頻度削減継続。

・化学物質、廃棄物（梱包材）――化学物質は削減。梱包材は増加輸入部品での梱包材増加削減困難の状況

・上水使用量―――増加。

① 長野工場駐車スペースの配管の亀裂から漏水もれあり増加の要因となりました。

'23 年５月に地上に水が噴き出して発見された。４月ごろから地下で、漏水があったと推察される。

② その他、東京本社人員４名が６名になり、使用量が微増となっています。

未達項目 長野工場の上水管ヒビ割れによる漏水です。それ以外は問題なく目標達成でき来ました。

5．４環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境管理責任者が環境関連法規（詳細は下記）の順守状況を '23．4～'24．３までを評価

・結果---遵守されていることを確認致しました。

適用法規制	監視結果・評価	'23 年度実績
廃棄物処理法	産廃業者の取引契約書及び産廃運搬許可書の有効期限 マニフェストの受理、県へのマニフェスト交付状況報告	違反事項はありませんでした.
フロン排出抑制法	廃棄したフロン使用設備はありませんでした。 自主点検における、設備の異常点は見られませんでした。	異常はありませんでした
消防法	社内巡視、書類監査で法への適合を確認しました。	問題ありませんでした.
有機則	洗浄室の掲示、溶剤の保管等遵守されていました。	異常ありませんでした.
家電リサイクル法	対象はありませんでした	-
違反の指摘（過去３年間）	関係当局からに、内部、外部の利害関係者からの訴訟等はありませんでした。	-

6．環境活動計画の次年度の取組内容

（1）総合評価

① 目標達成の評価

◇ ＥＡ２１取組

・継続となりますが、分別の徹底、状況確認と毎月の実績報告で従業員への啓蒙を図ってまいります。

・長野工場の集中冷暖房機が老朽化のため廃止されます。替わってパッケージエアコン 19 台が設置されます。実施時期７月～。

◇2024 年度への取組について

・EA21 の経営管理システムである「方針展開」へ環境活動を組み込み、成果に繋げるよう活動してまいります。5S 活動と連携していきたいと考えています。

また、2021 年度から取り組んでいますＬＥＤ化は未達。次年度継続検討してまいります。

・事業及び活動実績の評価方法について

組織の活動が生産量、販売状況や気候変動の影響を受けることを理解し、使用量評価と指標評価を行い、削減状況を把握し改善してまいります。

----2024 年度計画表---

※集中冷暖房機から、パッケージエアコン(19 台)切り替えで CO2 削減。(見込 △20%)

また、その他効果として、暖房用灯油 0で管理不要、冷媒の置換え（R22→R32)。

７月に再計画した内容を記載しています。

環境方針	環境目標項目	責任部門 責任者		基準値(2022y)		年度目標・達成手段 2023年度(基準年比:生産予定額 7%増)	2024年度(基準年比:生産予定額 9%増)	2025年度(基準年比:生産予定額 21%増)
			稼働時間(h)	2,165 h				
			売上結(百万円)	1,650 百万円	⇒	1,700 百万円	1,800 百万円	2,000 百万円
				基準年に対する変動比(%)⇒		1.03	1.09	1.21
排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	総務			基準年比削減率	1%	2%	3%
			排出量(kg-CO2)	187,685	目標値	191,568 kg-CO2	133,000 kg-CO2	144,000 kg-CO2
			指数(kg-CO2/百万円)	114		113 kg-CO2/百万円	74 kg-CO2/百万円	72 kg-CO2/百万円
	・電力使用量の削減 CO2排出係数 0.424 (本社占有約5%長野係数を採用)	60,060 開発-三石J 本社-吉川T 茅野-伊藤s	電力使用量(kWh)	409,000	使用量	417,000 kWh	421,000 kWh	481,000 kWh
			電力CO2あり(kWh)	259,936		-	278,000 kWh	306,000 kWh
			電力CO2無し(kWh)	140,973	太陽光一定使用	-	143,000 kWh	145,000 kWh
			指標(kWh/百万円)	247.9	指標	245.3 kWh/百万円	233.9 kWh/百万円	240.5 kWh/百万円
			CO2排出量(kg-CO2)	127,625	CO2排出量	180,000 kg-CO2	118,000 kg-CO2	129,678 kg-CO2
	冷暖房設備更新24年7月 エアコンへ切り替え24.07～		h:稼働時間 2022計画(8h稼働日数)	1,928h	達成手段	節電運動の展開 ・冷暖房の適正温度 不要照明の消灯 ・LED照明の採用 ・太陽光発電利用 ・工程ロスの削減～自動化の促進	・節電運動の展開 ・冷暖房の適正温度 ・不要照明の消灯 ・太陽光発電利用 ・LED照明の採用 ・工程ロスの削減～自動化の促進 ・茅野工場グリーン電気使用CO2フリー	・節電運動の展開 ・冷暖房の適正温度 ・不要照明の消灯 ・LED照明の採用 ・太陽光発電利用 ・工程ロスの削減～自動化の促進 ・茅野工場グリーン電気使用CO2フリー
	・灯油使用量の削減 CO2排出係数 2.49 エアコンへ切り替え24.07～	生産-福与FM	灯油使用量(L)	19,269	総量	19,850 L	1,000 L	0 L
			指標(L/百万円)	8.90	指標	11.7 L/百万円	0.6 L/百万円	0.0 L/百万円
			CO2排出量(kg-CO2)	48,018	CO2排出量	49,427 kg-CO2	2,490 kg-CO2	0 kg-CO2
					達成手段	・ウォームビズ運動の展開 ・工程ロスの削減 ・暖房機の適正温度管理 ・ボイラーの定期点検と整備、個別エアコン導入検討	・ウォームビズ運動の展開 ・工程ロスの削減 ・暖房機の適正温度管理 ・エアコン導入（灯油ボイラーの廃止）	・ウォームビズ運動の展開 ・工程ロスの削減 ・暖房機の適正温度管理 ・エアコンの管理点検と維持
	・社用車燃料使用量の削減 合計社用車数 4台 ガソリン2.3、軽油2.6	営業-松村J	燃料使用量(L)	5,003	総量	5,107 L	5,349 L	5,887 L
			燃費(km/L)	15.5	指標	15.5 km/L	15.5 km/L	15.5 km/L
			CO2排出量(kg-CO2)	12,042	CO2排出量	12,183 kg-CO2	12,761 kg-CO2	14,044 kg-CO2
					(参考L/百万)	3.00 L/百万円	2.97 L/百万円	2.94 L/百万円
			※L=22.4 5号車追加		達成手段	エコドライブ10運動の推進。 カーエアコン控え目使用 まとめ業務運転の促進 公共交通機関利用推進 出張機会削減(web会議の利用)	エコドライブ10運動の推進 カーエアコン控え目使用 まとめ業務運転の促進 公共交通機関利用推進 出張機会削減(web会議の利用)	エコドライブ10運動の推進 カーエアコン控え目使用 まとめ業務運転の促進 公共交通機関利用推進 出張機会削減(web会議の利用)
廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進	廃棄物排出量の削減			数量	基準年比削減率	1%	2%	3%
	廃棄物排出量削減の合計	総務-庄子 本社-吉川	総排出量(kg)	8,525	目標値	8,978 kg	9,404 kg	10,767 kg
			指標 (kg/百万円)	5.33		5.28 kg/百万円	5.22 kg/百万円	5.17 kg/百万円
		茅野-矢澤FM						
	可燃ごみ	総務-庄子 本社-吉川 茅野-矢澤FM	総排出量(kg)	1,944	総量	1,984 kg	2,078 kg	2,287 kg
			指標(kg/百万円)	1.18	指標	1.17 kg/百万円	1.15 kg/百万円	1.14 kg/百万円
				増15%	達成手段	分別の徹底による廃棄物削減 焼却紙くずのリサイクル化促進 コピー紙使用の低減化(電子データ化)検討	分別の徹底による廃棄物削減 焼却紙くずのリサイクル化促進 コピー紙使用の低減化(電子データ化)検討	分別の徹底による廃棄物削減 焼却紙くずのリサイクル化促進 コピー紙使用の低減化(電子データ化)検討
	リサイクル一紙 ・一般廃棄物の削減 (リサイクル) (ダンボール・雑誌・コピー用紙、他)	総務 庄子 本社 吉川 茅野-矢澤FM	kg	4,484	総量	4,577 kg	4,794 kg	5,276 kg
			kg/百万円	2.72	指標	2.69 kg/百万円	2.66 kg/百万円	2.64 kg/百万円
				維持	手段 達成	・ダンボールの削減、コピーの削減 ・対象物のリサイクル化推進 シュレッダー、雑誌、	・コピー用紙使用の低減化(電子データ化) ・最新コピー機の導入 ・裏紙使用推進 ・シュレダー使用推進	・コピー用紙使用の低減化検討 ・対象物のリサイクル化推進 ・裏紙使用推進 ・シュレダー使用推進
	・産業廃棄物の削減 (不燃ごみ)(廃プラ)(廃油)	資材 茅野-矢澤FM	kg	2,368	総量	2,417 kg	2,532 kg	2,786 kg
			kg/百万円	1.44	指標	1.42 kg/百万円	1.41 kg/百万円	1.39 kg/百万円
			廃プラCO2排出係数 2.556 廃油CO2排出係数 2.919	維持 (2052kg-co2) (1245kg-co2)	達成手段	・トレイ再利用 置き場設置 ・ビニール袋使用の低減 ・梱包箱の通い箱化	・トレイ再利用 ・ビニール袋使用の低減 ・梱包箱の通い箱化	・再利用トレイ ・ビニール袋使用の低減 ・梱包箱の通い箱化
排水量の削減(水道水使用量)	水道水使用量の削減 (上水)	総務-庄子			基準年比削減率	0.00%	0.00%	0.00%
			使用量(m3)	843	目標値	854	854	854
						維持	維持	維持
			指数(m3/h)	0.39	指標	0.39	0.39	0.39
					手段 達成	トイレの節水励行 蛇口の水量調整(点検で最適化) 総使用量は監視目的(漏水等の異常検出)	トイレの節水励行(必要内で) 蛇口の水量調整(点検で最適化) 総使用量監視で漏水等異常検出	トイレの節水励行(必要内で) 蛇口の水量調整(点検で最適化) 総使用量監視で漏水等異常検出
環境配慮活動の推進	化学物質使用量の削減 MEKの削減 ワニス・シンナー使用量監視	生産 福与FM	MEK、エチルアルコールなど溶剤 購入量(kg)		基準年比削減率	1%	2%	3%
				588	目標値	600 kg	629 kg	692 kg
						ワニス・シンナーの使用量削減(ムダ排除) (塗布治具などの導入)	ワニス・シンナーの使用量削減(ムダ排除) 接着塗布治具などの導入で使用量削減	ワニス・シンナーの使用量削減(ムダ排除) 接着塗布治具などの導入で使用量改善

7. 代表者による全体評価と指示事項

EA21 推進会議の中で、環境目標及び活動計画の実績について協議し、環境負荷低減活動を実施してき、目標達成することができました。茅野工場は１年間の実績から、目標値を設定し評価していきます。

次年度も、新機種立ち上げが計画されていることから、管理責任者に以下の内容を次年度計画に盛り込んだ重点的な活動を指示しました。

（１）環境方針について

環境方針は、「エコアクション２１ガイドライン 2017 年版」に準拠し運用している。

環境方針は経営方針に統合しました。次年度も変更の必要性は無いと判断します。

（２）目標・活動計画と実績について

①環境目標の未達項目について

・未達原因の究明と対策を確実に行なうこと。

② 環境配慮設計及び生産を積極的に推進

・製品開発ステップ管理のデザインレビューで環境影響物質管理を確実に実施のこと。

③ 環境教育

・ゴミ分別等、教育/指導/評価を定期的に行い、ルール順守の継続すること。

（３）環境経営システムの各要素について

環境教育の推進

新人含む従業員の教育は個別教育でなく、生産活動の中で関連し継続した教育となるようなシステムにしていくこと。

最後までお読みいただきありがとうございました。
継続的に改善を進めたいと存じますので、今後ともよろしくお願い致します。

以上